

12月19日（火） 1年生による「あぶしょう しょうてんがい」

今日は、1年生の教室に3つのお店が開店しました。

なぜお店屋さんなのか・・・1年生はこの時期に、国語科の学習において、ものの名前には、「それぞれの名前（例えば“うなぎ”）」と「まとめてつけた名前（例えば“魚”）」があることを学習しますが、接客での言葉のやりとりを通して、実際に使いながらその定着を図ろうと担任が考えたからです。学びにつながる授業であり、お楽しみの要素もある活動で、子どもたちの姿を見ると、うれしくなりました。



